

数学

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
数学	数学Ⅲ	6	3年次・JK群	選択

目 標	履修の条件・連絡
<p>平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・2年次に数学Ⅱ（4単位）を履修していること。 ・国公立大の理・工・医学部進学希望者に適している。

使用教科書 (出版社)	改訂版 最新 数学Ⅲ (数研出版)	副教材 (準備物)	改訂版 Study-Upノート 数学Ⅲ (数研出版)
----------------	----------------------	--------------	-------------------------------

学 習 の 年 間 計 画	期	月	学習内容 (単元・項目)	学 習 の ね ら い
	1 学 期	4月	第1章 複素数平面	<ul style="list-style-type: none"> ・複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 ・分数関数、無理関数のグラフがかけられるようにする。逆関数の考えを導入する。 ・数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
		5月	第2章 式と曲線	
		6月	第3章 関数	
7月		第4章 極限 (数列の極限) (関数の極限)		
2 学 期	9月	第5章 微分法	<ul style="list-style-type: none"> ・微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 ・微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 ・積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 <p>(1月末まで)</p>	
	10月	第6章 微分法の応用		
	11月	第7章 積分法とその応用 (不定積分) (定積分)		
	12月	積分法の応用		
3 学 期	1月			
	2月			
	3月			

学 習 評 価	観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	規 準	各分野において、考え方や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとしているか。	各分野の学習において、事象を数学的に考察・表現し、数学的な見方や考え方を身に付けているか。板書や定期考査で解答がきちんと書けているか。	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けているか。	基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。 定理、公式、記号などが理解できている。
	手 段	・ノート ・プリント ・授業態度	・定期考査、 ・ノート、プリントの内容	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・課題
	各学期や年間の学習状況の評価方法	定期考査 (年5回)、ノート、授業態度			

学習上の留意点	数学Ⅲは、高校で習う最高レベルの数学なので、特に復習をきちんとすること。
---------	--------------------------------------